

### 重症患者さんの安全な治療と一般病棟へのスムーズな移行を目指します

#### 診療体制

6ベッドの集中治療ユニットです。肝胆膵・移植外科と心臓血管外科の術後重症患者さんの集中治療を行っています。設備はICUに準じた設備を整えており、人工呼吸器、人工透析、心電図モニター、エコーなどの検査機器など完備しています。看護体制は2～3名の患者さんに1名の看護師が看護に当たっています。

#### 対象疾患

肝胆膵・移植外科と心臓血管外科の術後重症患者さんが中心ですが院内の重症患者さんで適応のある方は広く治療に当たっています。人工呼吸管理はもとより、人工透析、血漿交換なども行い、ICUからのステップダウン病床として長期管理も含めた治療を行っています。



### 最先端の情報技術で高度先進医療をサポート

京大病院の高度な医療を、情報技術(電子カルテやウェブ、映像配信技術)でサポートします。また、情報技術の可能性を追求し、最先端および次世代の医療を提案します。



#### 業務体制

5人の教員(教授・准教授・講師・助教・特定助教)と外部スタッフ3名、事務部経営管理課・医療情報管理掛とともにネットワーク利用サポート、病院情報システムの保守・運営を行っています。また、病院の情報基盤を預かっていることから、病院運営にも深くかかわっています。

#### 対象業務

情報支援戦略全般の立案、病院情報システムの改良、新サービス立案・設計、院内ウェブサービスの提供、ネットワークセキュリティ監視などを実施しています。

#### 診療、研究実績

##### 一般的な診療についての実績

病院情報システムの企画・導入・運用を行っています。また、院内業務のみならず、地域の医療連携を目指し、医療機関の枠組みを超えた「どこでもカルテ」の仕組み(まいこネット)を構築しました。

##### 高度医療の取り組み・研究

###### ①医療経営・マーケティング

病院の効率的運営のために、原価計算、マーケティングなどの経営的な視点が求められつつあります。患者の受療行動の観点から、地域内ばかりでなく、世界的な患者動態を視野に入れた調査を行っています。

###### ②診療情報の効率的な取得および再利用に関する研究

病院で発生する情報は全て何らかの意味を持つ情報であり、また膨大な情報が蓄積されつつあります。そこから新しい知識を獲得することで、過去の診療情報の利用や、新しい診断基準などの自動獲得を目指しています。

###### ③VRを用いた手術技能訓練環境の研究・開発

人工現実感(VR:Virtual Reality)を用い、仮想の人体に触れながら手術の練習をするための体感型の手術訓練シミュレータの開発を行っています。

